

平成20年度 伊賀市の家計簿

地方財政は、国と同様、世界の金

融資本市場の危機を契機に始まった世界的な景気の悪化の影響を受け、大幅な財源不足が生じています。本市では、地方の景気を好転させるため、国の経済対策に呼応して、建設事業を初めとする大幅な補正予算を計上いたしました。しかし、景気の低迷はすぐに改善されるものではなく、財源不足のなか、公債費や扶助費などの経常的経費は依然として高い割合を占め、厳しい財政運営が続いています。

このような状況の中、本市が市民の皆さんのご期待に応えていくため、引き続き行財政改革を断行し、財政の健全化を図りたいと考えています。

ここにお知らせする平成21年3月末現在の収支状況では、市税などの歳入が予算額を上回ることが予想され、歳出についても各経費で支出が抑えられることにより、繰越額が出るの見込まれますが、詳細な決算の状況につきましては、11月にお知らせいたします。

平成21年5月

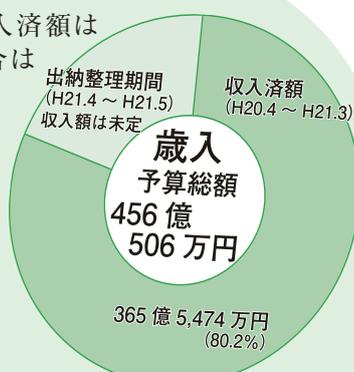
伊賀市長 内保博仁

一般会計 歳入の状況

歳入では予算総額456億506万円に対し、収入済額は365億5,474万円となり、予算総額に占める割合は80.2%となっています。

このうち、市の予算を支える市税の収入は153億7,270万円で、収入済額に占める割合は、42.1%となっており、市税の予算額に対しては、97.9%の収入となっています。

一方、市が借金するお金である市債の収入済額は、16億3,620万円であり、市債の予算額に対し28.2%の収入となっています。これは、5月に借り入れる金額が多いためです。



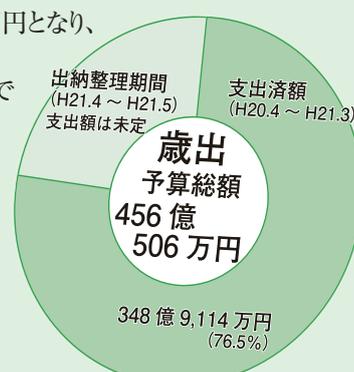
市民一人当たりが負担する税額
15万5,352円 (予算額に対して)

一般会計 歳出の状況

歳出では予算総額に対し、支出済額348億9,114万円となり、予算総額に占める割合は76.5%となっています。

このうち、児童・障がい者・高齢者福祉などの経費である民生費の支出済額は99億8,678万円で、支出済額に占める割合は28.6%となっており、民生費の予算額に対しては86.2%の支出となっています。

また、市の借金を返済する経費である公債費の支出済額は67億2,861万円であり、公債費の予算額に対し、約99.9%の支出となっています。



市民一人当たりを使う費用
45万1,124円 (予算額に対して)

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの各会計予算の執行状況(3月31日現在)や、財産と負債の状況をお知らせします。なお、各会計の収入済額および支出済額の中には、平成21年4月1日から5月31日までの出納整理期間における収入・支出の額は含まれていません。



市税の状況

区分	予算額	収入済額	収入割合%
市民税	69億3,005万円	66億6,936万円	96.2%
固定資産税	78億8,614万円	78億6,007万円	99.7%
軽自動車税	2億1,095万円	2億1,090万円	100.0%
市たばこ税	6億751万円	5億6,256万円	92.6%
鉦産税	22万円	19万円	87.9%
都市計画税	45万円	59万円	132.5%
入湯税	6,954万円	6,903万円	99.3%
計	157億486万円	153億7,270万円	97.9%

市民の皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多く収入済額は78億6,007万円で、市税の収入済額の51.1%を占めています。また、市民税の収入済額66億6,936万円で、市税収入済額の43.4%となっています。

◀収入割合は、円単位で算出した数値を記載